

特集①

# 芸術文化をたのしもう

特集②

## 文研コラム

「熊一『遠野物語』四三話の誕生」

特集③

中高生海外派遣4年ぶり再開

ほか

財団  
広報

2023 No.33

＜表紙＞華道教室の風景（龍生派）

遠野市新町の華道団体「龍生派」。阿部朋子先生指導の下、7人の生徒が毎週土曜日、華道に取り組んでいます。龍生派の皆さんの紹介は、特集コーナー（2、3ページ）にも掲載しています。

心豊かで夢を持ち、郷土を愛する人を育てる



Fantastic Life Fantastic Foundation



## 華道

りゅうせいは  
龍生派

毎週土曜日午前、新町の柳玄寺で活動している華道団体「龍生派」。教室では、生徒が花を生けた後、阿部朋子先生による指導や、生徒同士で作品を鑑賞しあう時間があります。

生徒からは「先生が少し手を加えるだけで、作品が途端に見違えるんです。」との声。和やかでありながら、背筋がしゃんと伸びるような教室です。



生け花体験「お花を生けてみよう」

① 11月3日（金・祝）10時から11時半まで②先着5人③遠野市民体育館

## 尺八

とざんりゅうしゃくはちとおちくかい  
都山流尺八遠竹会

毎月第二・四曜日に活動している「遠竹会」。遠野市総合福祉センターからは、幽玄な尺八の音色が聞こえてきます。指の運びや息の吹き込み方、角度などで多様な音色を奏でる尺八。凛々しい顔つきで真剣に取り組むメンバーからは、技を極めようとするひたむきさが感じられました。



尺八体験「尺八ってどんな楽器？音出しに挑戦！」

① 11月3日（金・祝）13時から15時まで②先着15人③遠野市民センターホワイエ  
※参加者には塩ビパイプ尺八をプレゼント

## 洋楽

遠野市民バンド  
ニュー・リバイティーズ

音楽好きの仲間たちが集う「ニュー・リバイティーズ」は、毎週月曜日に活動しています。1年を通じ市内の様々なイベントから出演依頼がある、遠野の音楽シーンを盛り上げるには欠かせない団体です。吹奏楽部出身者が多いですが、もちろん初心者も歓迎。12月にはウィンターコンサートも開催予定。ダイナミックな生演奏を、ぜひ間近で体感してください。



演奏・楽器体験「いろんな楽器を演奏してみよう」

① 11月3日（金・祝）10時45分から11時45分まで②なし③遠野市民センタープラッツア

## 文芸

宮守短歌  
同好会

みやもりホールで行われている短歌会。当日までに短歌を提出し、短歌会場で互いの歌を声に出して読み合います。日頃見る景色、家族、思い出などを自由に詠んだ歌からは、その人が見たことや感じたことが情景として浮かぶようです。初めての方でも親しめる、優しく温かい短歌会、ぜひ体験してください。



短歌体験「短歌のつどい」

① 11月4日（土）13時半から15時半まで②先着20人③あえりあ遠野中ホール  
※事前に短歌一首を添え申込み

## 第18回遠野市民芸術祭 芸術文化体験コーナー

各団体の写真下部にて

体験コーナー名①日時②定員③場所  
を紹介しています。ぜひお申し込みください！

申込先 遠野市民芸術祭事務局  
＜郵便＞〒028-0524 遠野市新町1-10  
＜TEL＞0198-62-6191  
＜MAIL＞event1@tono-ecf.or.jp  
＜申込み用QRコード＞



参加無料！

## 遠野で 芸術文化を たのしもう



箏体験「箏の音色を奏でよう」

① 11月3日（金・祝）12時から13時半まで②①回12時から、②回12時半から、③回13時から。各回30分、先着2人ずつ③遠野市民センターホワイエ

## 箏

いくたりゅうせいは  
まさあきかい  
生田流正派  
雅明樹会

青笹町で日々練習に励む、箏の団体。個人レッスンから合奏とステップを踏みながら、遠野市民芸術祭のステージに向け練習を重ねています。基本となる古典の他、流行のポップスなども取り入れながら、箏の魅力を広く伝えていきます。楽しむことを大切にするおらかさの中に、箏の音を絶やさないうように、との熱い思いが伺えます。



# 「熊」——『遠野物語』四三話の誕生

遠野文化研究センター所長 荒田 昌典

近年、「〇〇地区に熊が出没」という市の緊急放送を耳にすることが多くなった。その怖い「熊」の話が、明治三十九年発行の『遠野新聞』(注)に掲載されている。

**熊と格闘** 上郷村仙人峠(中略)に熊の足跡あるを見出し(中略)大熊を狩出したれども斃るゝ気配のあらざれば面倒臭しと猟銃打ち捨て無手と打組みしも手追ひの猛熊處きはらず鋭爪以て引掻き(中略)上になり下になり暫が間は格闘せし(中略)他の猟夫の一発に斃れしも松次郎の負傷は目も当てられぬ有様にて(中略)今尚ほ治療中なりとは聞くも恐ろしき嘶にて武勇伝にでも有り相な事也

(明治三十九年十一月廿日第十三号)

この記事を読んだ佐々木喜善は、その内容を柳田國男に伝え、それが『遠野物語』に採録されることになる。

一昨年の遠野新聞にも此記事を載せたり。上郷村の熊と云う男、友人と共に雪の日に六角牛に狩に行き(中略)とある岩の陰より大なる熊此方を見る。

(中略)熊に抱え付き雪の上を転びて谷へ下る。連の男之を救はんと思へども力及ばず。やがて谷川に落入りて、人の熊下になり水に沈みたりしかば、その隙に獣の熊を打取りぬ。水にも溺れず、爪の傷は数ヶ所受けたれども命に障ることはなかりき。

(『遠野物語』四三)



三浦佑之『村落伝承論—遠野物語から』(五柳書院、一九八七年)は、「動物の熊に組み付いたのが人間の熊だからこそ、この話は説話として伝承されることになった。」とし、『遠野物語』ではこの熊という名前に説話的なこだわりを持つて「おり、それは「人の熊下になり水に沈みたりしかば、その隙に獣の熊を打取りぬ。」という描写の

仕方にも明瞭に表れている」。さらには「連れの男という証人」がいることも、この話の事実性を支える根拠の一つとなっている」と結論づけた。

「遠野新聞」の記事が『遠野物語』へと変化していく過程が推測される一例である。喜善が、この記事をどう咀嚼し、どの様に柳田に伝えたのか。そうして柳田は「感じたるまゝ」に筆記し、四三話が誕生した。

(注)「遠野新聞」は明治三十九(一九〇六)年五月二〇日の第一号から翌年八月十日の第二八号まで、月二回発行された。明治末期の世相を反映した内容で、見開き四ページ。伊能嘉矩や佐々木喜善もペンネームで数多く寄稿していた。

筆者 荒田昌典—遠野文化研究センター所長。遠野市初の学芸員として昭和五五年の市立博物館の開館に従事。遠野物語発刊百周年記念事業、文化研究センター創設、文化による復興支援等を実施。遠野市出身。

## Info 遠野文化研究センター講座

### 徹底調査 宮沢賢治の上郷旅

令和5年 11月11日 土  
10:00~12:00  
あえりあ遠野 中ホール  
参加料 300円

昭和6(1931)年、当時の上郷村を訪問した賢治の足取りをたどります。  
講師 遠野文化研究センター研究員 菊池 弥生

▶申込・問合せは遠野市教育文化振興財団まで



コロナ禍を経て4年ぶりに再開！

# 中高生海外派遣交流事業

遠野市姉妹都市交流事業実行委員会が主催するこの事業は、未来を担う中高生が海外での異文化体験を通じてグローバルな視野と感覚を養うとともに、国際理解や国際交流への関心を高め、国際化に対応する人材の育成を目的として実施します。

姉妹都市米国テネシー州チャタヌーガ市への派遣は、令和2年1月の中学生派遣を最後に中断されており、4年ぶりの実施となります。

今期の派遣生は中学生・高校生あわせて10人。派遣生は全7回の事前研修を通して、ALT との実践的な英会話や、海外渡航に必要な基礎知識、チャタヌーガ市に関する研修を行い、来年1月5日から9日間の派遣に向け準備を進めていきます。

## 派遣生 INTERVIEW 海外派遣交流事業に参加した理由を教えてください



遠野高校2年 木原 康生 さん  
小学生の時に会ったチャタヌーガの友人に会いに行く夢を叶えるため参加を希望しました。5年ぶりの再会が楽しみです。



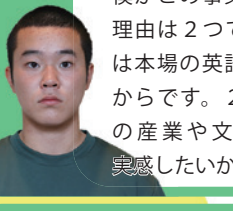
遠野高校2年 菊池 楓夏 さん  
将来保育士になりたいと考えています。子供相手だと言葉が伝わらないことがあるので、自分の意志を伝える力を伸ばしたいと思い派遣への参加を希望しました。



遠野高校2年 齋藤 愛理咲 さん  
将来国際関係の大学に進みたいのと、遠野市の魅力をチャタヌーガ市の方たちに発信して交流を深めたいと思い参加しました。



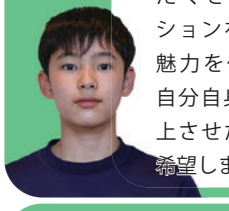
遠野緑峰高校2年 奥友 凜 さん  
前回の派遣事業に参加した際に、慣れない英語で話すことの難しさと楽しさを学びました。この経験をさらに活かそうと思い参加しました。



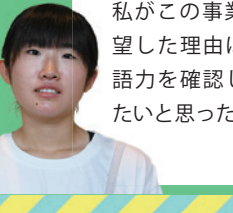
遠野西中学校2年 菊池 昇真 さん  
僕がこの事業に参加した理由は2つです。1つ目は本場の英語を知りたいからです。2つ目は海外の産業や文化を五感で実感したいからです。



遠野中学校2年 牧田 奈桜 さん  
私が今回この事業に参加した理由は、もっと自分の英語力を高めたい、海外の文化を知って吸収して、それを還元していきたいと思ったからです。



遠野中学校2年 阿部 修太 さん  
たくさんコミュニケーションをとり、遠野市の魅力を伝えと同時に、自分自身の英語能力を向上させたいため、参加を希望しました。



遠野中学校2年 内田 羽美 さん  
私がこの事業に参加を希望した理由は、自分の英語力を確認し、向上させたいと思ったからです。



遠野東中学校2年 金濱 望美 さん  
異文化についての理解を深めるためには、英語をコミュニケーションツールの一つとして使うことが大切だと思い、この事業に参加しました。



遠野東中学校2年 菊池 大輝 さん  
外国の文化を学びたい、そして日本の文化を伝えたいという想いがあり、チャレンジしてみようと思いました。



## JICA グローカルプログラム実習生受入

「JICA 海外協力隊グローバルプログラム」実習生の池田ゆりかさんが、今年7月からの当財団での実習を終え、9月22日に遠野を発ちました。池田さんは、国際協力機構（JICA）海外協力隊の候補生が地域創生の取り組みを学ぶ本プログラムの後、派遣前訓練を経て、任国スリランカへと向かいます。

当財団では、海外経験や日本語教師としての経歴を生かし、遠野市の日本語教室「ぽんご」の持続可能な運営に向けた取り組みや、姉妹都市 PR 事業の企画を担当しました。実習の成果は当財団に託され、今後国際交流事業で活用されます。新たに生まれた「遠野人」の活躍を願います。



①財団内で活動報告をする池田ゆりかさん  
②池田さんが担当した姉妹都市展示「つながるということ」  
③日本語教室「ぽんご」でのモデル授業の様子



## ▶▶▶ Information 令和5年10月以降のお知らせ

### 生涯学習講座

#### しめ縄リース手作り講座

伝統的なわら細工の技術を学びながら、現代風にアレンジしたしめ縄リースを作ります。パーツを付け替えることで、クリスマスからお正月まで長く楽しめます。

- 日 時 11月18日(土) 10時～11時30分
- 場 所 遠野市民センター 第1会議室
- 参加費 1,000円(先着10人)
- 講師 杉館キミ氏
- 申込期限 11月16日(木)

#### 遠野市民センターバレエスタジオ 第46回発表会

- 日 時 11月26日(日) 14:00～(13:30開場)
- 場 所 遠野市民センター 大ホール
- 入 場 料 一般1,000円 高校生以下600円(未就学児無料)  
※いずれも当日200円増
- 特別出演 横内国弘氏(バレエダンサー)
- 主 催 遠野市民センターバレエスタジオ父母の会  
遠野市、遠野市教育委員会
- 協 力 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団
- プレイガイド とびあ、みやもりホール、遠野市民センター、  
(一財)遠野市教育文化振興財団

#### 第33回遠野少年少女合唱隊発表会

- 日 時 11月23日(木・祝) 14:00～(13:30開場)
- 場 所 みやもりホール
- 入 場 料 一般300円 高校生以下200円(未就学児無料)  
※いずれも当日100円増
- ゲ ス ト 小関佳宏氏(ギター)、千石史子氏(ソプラノ)
- 主 催 遠野少年少女合唱隊父母会  
遠野市、遠野市教育委員会
- プレイガイド とびあ、みやもりホール、遠野市民センター、  
(一財)遠野市教育文化振興財団

#### 第21回 「絵で伝えよう！わたしの町の たからもの」絵画展

市内小中学校の児童・生徒の「わたしの町のたからもの」をテーマにした作品を展示します。

- 期 間 11月20日(月)～12月3日(日)
- 時 間 9時～17時15分※最終日は正午まで
- 場 所 遠野市役所本庁舎 市民ホール
- 主 催 遠野ユネスコ協会
- 共 催 遠野市教育委員会、  
(一財)遠野市教育文化振興財団

ご寄附ありがとうございます  
令和5年9月受付分まで  
▼匿名寄附者様 3件  
頂戴した寄附金は、寄附者の意向のとおり活用させていただきます。  
寄附は、個人・法人問わず随時受付しています。皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせは

遠野市教育文化振興財団 ☎ 0198-62-6191 まで

ホームページ ▶ <https://www.tono-ecf.or.jp/>



遠野市 財団 フェイスブック

GO

